

## イネ科通信 22

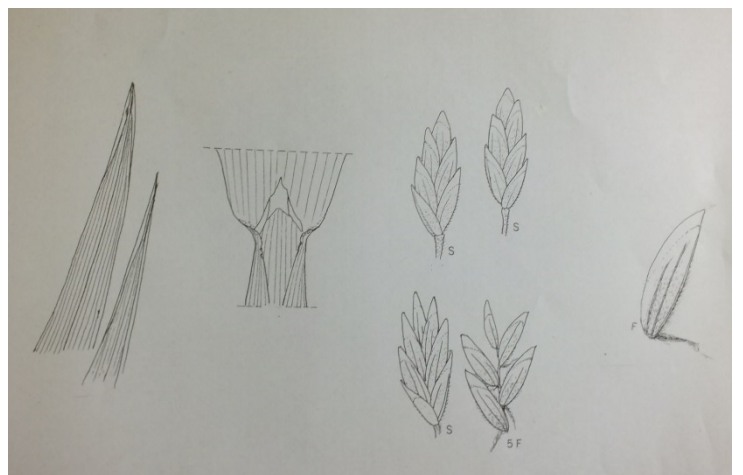
### ミゾイチゴツナギ

2013/04/22

春3月ごろから現れ4月には背丈30~80cmになります。葉身は柔らかく、頭（花穂）を下げたように生えます。南港の緑道などで多数のミゾイチゴツナギの群れをみかけました。背丈30~80cmに成長します。日陰、半日陰のところに生えます。花序の枝が長くて先が垂れぎみになり、各節2個の枝を出すものが多いのはスズメノカタビラと同じです。ルーペでよく見ると花序の枝には小指針がまばらにあります。



小穂は3~5小花からできています。左の写真は日陰にあったミゾイチゴツナギで、それを拡大したのが右です。



＊上左の写真はインターネットより引用しました。左側はミゾイチゴツナギの小穂です。苞穎2枚と小花3からなっています。

＊＊上右は苞穎2枚を取り外したもので3小花がみられますが、内穎は護穎に包まれているので写真には写っていません。護穎の下に見えるのは綴毛（てつもう）です。綴毛はイチギツナギ属に特有なものです。

右上のスケッチは日本イネ科図譜（平凡社・長田武正）より引用したものです。

＊左端は葉身で先がボート形になっています。スズメノカタビラも同じです。その右には葉鞘口部に三角形の葉舌がみえます。

＊＊さらに右側には3小花と5小花からなる小穂が描かれています。

＊＊＊右端には小花の下の綴毛が描かれています。